

2020年度
教育学部第3年次編入学試験
(英語)
問題冊子

11月1日(金)10:00~11:30

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子と解答冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は、問題用紙がその1からその2までの2枚である。
3. 解答冊子は、解答用紙がその1からその2までの2枚である。
4. 問題冊子、解答冊子ともホッチキスをはずしてはいけない。
5. 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつたら、ただちに申し出ること。
6. 解答にかかる前に、問題用紙及び解答用紙のそれぞれ所定の箇所に受験番号・氏名を記入すること。整理番号欄には何も記入しないこと。
7. 全ての問題に解答すること。
8. 解答は所定の解答用紙に記入すること。所定の解答用紙以外に書いた場合は採点の対象としない。欄外には何も記入してはいけない。
9. 問題冊子の余白は草稿のために使用してもよい。
10. 試験終了時刻になっても指示があるまで退室してはいけない。
11. 問題冊子及び解答冊子は持ち帰ってはいけない。(試験終了後、両方とも回収する。)

2020年度第3年次編入学試験問題

教育学部

| | |
|------|----|
| 試験科目 | 英語 |
|------|----|

(2枚中 その1)

2019年11月1日 10時00分～11時30分

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

教育学部

| | |
|------|----|
| 試験科目 | 英語 |
|------|----|

(2枚中 その1)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本ウェブページでの公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、これを削除し、以下のとおり出典名等を記載することとします。

(Robson, S. (2012). *Developing thinking and understanding in young children: An introduction for students* (2nd ed.). New York: Routledge, pp. 32-33 より一部抜粋)

2020年度第3年次編入学試験問題

教育学部

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 英 語 |
|------|-----|

(2枚中 その2)

2019年11月1日 10時00分～11時30分

| | | | |
|------|--|-----|--|
| 受験番号 | | 氏 名 | |
|------|--|-----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

教育学部

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 英 語 |
|------|-----|

(2枚中 その2)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本ウェブページでの公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、これを削除し、以下のとおり出典名等を記載することとします。

(Rizvi, F. and Lingard B. (2006). "Globalization and the changing nature of the OECD's educational work" In H. Lauder et al. (Eds.), *Education, globalization and social change*, Oxford: Oxford University Press, p. 247 より一部抜粋)

(教育学系)

2020年度
教育学部第3年次編入学試験

(小論文)
問題冊子

11月1日(金)13:00~15:00

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子と解答冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は、問題用紙がその1からその2までの2枚である。
3. 解答冊子は、解答用紙がその1からその2までの2枚である。
4. 問題冊子、解答冊子ともホッチキスをはずしてはいけない。
5. 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつたら、ただちに申し出ること。
6. 解答にかかる前に、問題用紙及び解答用紙のそれぞれ所定の箇所に受験番号・氏名を記入すること。整理番号欄には何も記入しないこと。
7. 全ての問題に解答すること。
8. 解答は所定の解答用紙に記入すること。所定の解答用紙以外に書いた場合は採点の対象としない。欄外には何も記入してはいけない。
9. 問題冊子の余白は草稿のために使用してもよい。
10. 試験終了時刻になっても指示があるまで退室してはいけない。
11. 問題冊子及び解答冊子は持ち帰ってはいけない。(試験終了後、両方とも回収する。)

2020年度第3年次編入学試験問題

教育学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(2 枚中 その 1)

2019年11月1日 13時00分～15時00分

| | | | |
|------|--|-----|--|
| 受験番号 | | 氏 名 | |
|------|--|-----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

教育学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(2 枚中 その 1)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

I. 人間形成と職業との関係について、あなたの意見も加えて論じなさい。

2020年度第3年次編入学試験問題

教育学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(2枚中 その2)

2019年11月1日 13時00分～15時00分

| | | | |
|------|--|-----|--|
| 受験番号 | | 氏 名 | |
|------|--|-----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

教育学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(2枚中 その2)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本ウェブページでの公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、これを削除し、以下のとおり出典名等を記載することとします。

(出典：吉川徹・狭間諒多朗編『分断社会と若者の今』大阪大学出版会、2019年、71-72頁より一部抜粋)

(心理学系)

2020年度
教育学部第3年次編入学試験

(小論文)
問題冊子

11月1日(金)13:00~15:00

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子と解答冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は、問題用紙がその1からその6までの6枚である。
3. 解答冊子は、解答用紙がその1からその2までの2枚である。
4. 問題冊子、解答冊子ともホッチキスをはずしてはいけない。
5. 落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつたら、ただちに申し出ること。
6. 解答にかかる前に、問題用紙及び解答用紙のそれぞれ所定の箇所に受験番号・氏名を記入すること。整理番号欄には何も記入しないこと。
7. 全ての問題に解答すること。
8. 解答は所定の解答用紙に記入すること。所定の解答用紙以外に書いた場合は採点の対象としない。欄外には何も記入してはいけない。
9. 問題冊子の余白は草稿のために使用してもよい。
10. 試験終了時刻になっても指示があるまで退室してはいけない。
11. 問題冊子及び解答冊子は持ち帰ってはいけない。(試験終了後、両方とも回収する。)

2020年度第3年次編入学試験問題

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その1)

2019年11月1日 13時00分～15時00分

| | | | |
|------|--|-----|--|
| 受験番号 | | 氏 名 | |
|------|--|-----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その1)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

- I. 以下の文章は、小林道夫著『科学の世界と心の哲学—心は科学で解明できるか』(中公新書、2009年、129 - 133 頁)の一部を抜粋したものである。これを読んで、後の問に答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本ウェブページでの公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、これを削除し、以下のとおり出典名等を記載することとします。

2020年度第3年次編入学試験問題

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その2)

2019年11月1日 13時00分～15時00分

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その2)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

知覚

問題になるのは、知覚が、このような反射的・機械的なものではなく、外的対象が、ある性質を伴って知覚される場合(あかあかと燃える松明や赤いトマトを見たり、除夜の鐘の優美な音を聞いたりする場合)、あるいは、身体のある箇所に痛みを感じる内的・身体的知覚の場合(すなわち、いわゆる「タオリア」(主観的感覚質)が顕在的に登場する場合)からである。この場合は、その外的対象の「性質」や、「痛み」についての意識現象の性格ないし身分が問題となる。

この問題を扱う場合にまず必要だと考えられるのは、この意識現象をどの観点から捉えるのかということである。この知覚を、実際に知覚しているそのなかからではなく、外から、因果的・理論的に理解しようとするれば、外的対象の知覚は、外的対象の物理的運動が視覚に刺激を与え、その刺激が神経を介して脳に伝えられて、脳の神経細胞にある特定の活性化を与えることであり、その場合の知覚意識とは、その脳における刺激の受容に伴う現象であるということになるだろう。また、「痛み」についても、それは、身体のある部位における刺激が、脳の神経細胞に伝えられ、それが身体の生存に不都合なこととして受容されるということになるだろう。神経科学や脳科学は、このような因果的・理論的見地から進められるのであり、それはますます精密なものとなるだろう。しかし、この場合は、周知のように、知覚するものが経験するタオリアとみなされる「赤さ」や「痛み」そのものの「感じ」は、その科学的究明からは抜け落ちることになる。

これに対して、知覚を、知覚するものの内側から捉える実際の・日常的見地があり、普通にわれわれが知覚について語る場合はこの見地においてである。知覚の意識が顕在化するものは、この見地に立つことによってである。その場合、われわれは、あかあかとした松明の炎を見、除夜の鐘の音を聞く場合、生理学的刺激を感じて受けとめて、それに従って、その原因である外的対象を表象するなどという理解はしない。われわれは、その松明の炎の「あかあかさ」や除夜の鐘の音の「優美さ」を、松明や鐘に直接帰属させ、「あかあかとした松明の炎」そのものを見るとき、「優美な除夜の鐘の音」そのものを聞くと思ってしまう。そうして、そのような外的対象の感覚質の意識をもつのである。これは、したがって、先の観点の場合のような、知覚についての、因果的メカニズムに従った理解ではない。この場合、われわれは、そのような対象がそのようなものとして(生理学的刺激の物理的原因としてはなく)、実在すると信じて知覚しているのである。

2020年度第3年次編入学試験問題

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その3)

2019年11月1日 13時00分～15時00分

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その3)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

しかし、このように知覚を、知覚するものの内側から理解する場合、松明の炎の「あかあかさ」や除夜の鐘の「優美さ」という感覚質は、その対象に主観的に帰属するいわば客観的性質であり、それをわれわれは表象しているのだということではないだろう。われわれは、この知覚についての実際の見地においても、それらの感覚質を対象から「受け取っており(受動しており)」、それらを「感じている」という主観的側面を経験しているからである(「痛み」についてはなおさらである)。知覚についての日常の見地では、この主観的側面が「主観的意識」を構成しているのである。「あかあかとした松明の炎」そのものを見ると思い、「優美な除夜の鐘の音」そのものを聞くと思う、というのは、あくまで、その主観的性質についての意識を伴って、同時に、それをその対象(松明や鐘)に関係づけ、そのような知覚判断をしているということなのである。そうであるから、日常の見地において、対象から与えられ、主観的に感じ取られる感覚質そのものは、まさに「主観的性質」であるため、自然主義的(科学的)究明では取り上げられないのである。

2020年度第3年次編入学試験問題

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その4)

2019年11月1日 13時00分～15時00分

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その4)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

- 問1. 筆者が述べる「知覚についての、因果的メカニズムに従った理解」(傍線部①)とはどのような理解か。本文に即して説明しなさい。
- 問2. 筆者は文中において、科学では取り上げられない意識の特徴について述べている。その特徴について、本文に即して説明した上で、人間の心の探求についてあなたの考えを述べなさい。

2020年度第3年次編入学試験問題

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その5)

2019年11月1日 13時00分～15時00分

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その5)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印刷は受験者記入不要

II. 以下の文章は、Ian J. Deary (著) 繁例算男 (訳) 『一冊でわかる 知能』(岩波書店、2004年、127 - 131頁) の一部を抜粋したものである。これを読んで、後の問に答えなさい。

もし私の知能テストの得点があなたの得点よりも高いとすれば、それは、私があなたよりも賢いとか、利口であることを意味しているのだろうか。もし用いられたテストが知能の一般因子の指標として適当なものであり、あるいは、ウェクスラー知能検査のようによく知られた総合知能検査であるならば、この問いに対して肯定的に答えてもよいかもしれない。もしこの2人が遺伝的に関係があり、同じような文化に育ったならば、この肯定的な答の説得力は増すと考えられるだろう。これから紹介するデータは、知能テスト得点と同じ傾向になるはずだと思われる状況において、得点が大福に異なることを示し、知能を測定する試みに疑問を呈している。このデータの鍵を握っている研究者はニュージーランドのオタゴ大学の政治学者フリン(J. Flynn)である。彼は、知能テストの研究者に科学的難題を示して、心理学界全体が頭を抱えている。

フリンがこの問題に科学的な関心を向けたきっかけは、テスト会社が知能テストの得点の基準換算表を頻りに改定しなければならないという事実であった。この面白みに欠ける技術的な問題が、今日の知能テスト研究における最大の謎のひとつを生むきっかけとなった。テスト会社から知能テストを購入すると、検査用紙と解答用紙に加えて、被検者が公平な立場でテストを受けられるように、標準的な状況でテストを実施するための教示マニュアルが送られてくる。しかし、実際に知能テストを実施することを想像してみると、他にも必要なものがあることがわかる。知能テスト得点の良し悪しの基準を示すものがなければ、得点そのものには意味がない。そのようなわけで、テストを購入した場合には、基準換算表も送られてくる。この表は、知能テストで得られた成績を母集団得点(IQ)に換算する表である。知能テスト得点は年齢とともに変化する(略)ために、通常、この表は年齢ごとに示されている。こうしてあなたは、被検者が同年齢の母集団においてどのように位置づけられるかを知ることができる。この表を見れば、母集団において被検者の得点よりも高い得点をとる人の割合や低い得点をとる人の割合を知ることができる。これは、子どもの身長を測り、同年齢の母集団と比較した覚えのある人にとってはなじみのある作業だろう。

フリンは、この換算表が数年ごとに改定されなくてはならないことに着目した。実は、新しい世代が生まれるごとに知能テストの得点は良くなっていった。ということは、知能テストはより容易になっているようにも見える。つまり換算表が作られた後、1世代か2世代が過ぎると、後の世代の「平均」の人は、前の世代の「平均」の人よりもはるかに高い得点をとる。たとえば、1980年代に検査された20代は、1950年代の20代よりも、同じテストで良い成績をとっている。換算表は時代に合わせて変わっていた。フリン自身の用

語では、「時代遅れ」なのである(この事実は、イングランドのAレベル試験[大学受験のための標準テスト]の結果の傾向と並行的な関係にある。受験生は以前よりも良い成績を示しているが、この原因は教育が良くなったためなのか、試験問題がやさしくなったためなのかについて、議論が起きている。ただし、知能テストの場合には、少なくともテストの内容は同じである)。

テスト会社の対応は、テストの換算表を改定することであった。換算表が改定されると、同じパーセンテージ得点(たとえば、上から取って10%点、それはつまり下から取って90%点で上位10%ということ)を得るためには、高い得点を得なくてはならなくなった。すなわち、もし同じテストで同じ得点を、1950年と1970年に得たとするならば、1950年においてより高いIQ得点をとったとされる。現実にはもっと奇妙なことが起こりうる。仮に、古い換算表が使われる最後の日にテストを受け、ある得点をとったとしよう。検査者は換算表を見て、パーセンテージ得点に換算する。しかし、新しい換算表が適用される最初の日に同じ得点をとったとすると、そのパーセンテージ得点はかなり低くなってしまふ。ただし、テスト会社の対応は換算表の改定だけではない。他の対策として、内容を難しくした新しいテストを受けさせる場合もある。

(中略)

1984年、フリンは心理学の専門誌『サイコロジカル・ブリテン』に、ある科学論文^②を発表したが、この論文は知能テストの利用者に対し、知能テストに何かおかしい点があるという警告を発したと言える。テスト会社が換算表の改定をくり返していたことは周知の事実であったが、フリンはその変化を定量化し、そしてその意味を明確に記述した。彼の定量化は巧妙で心理学的な探偵の仕事とでも言うべきものだった。彼は6年以上の間隔において実施された知能テストの結果についての研究を探し、そのすべてを検討した。ここが彼のアイデアの鍵である。フリンは被検者のパーセンテージ得点だが、以前の換算表を使った場合と、後の換算表を使った場合とでどのように異なるかについて調べ始めた。明確な結果を示すために、アメリカの白人を対象としたものだけに限定した。結果として彼は73の研究を見つけた。これらの研究を合わせると、2歳から48歳までの7500人が参加したことになった。これらの研究では、代表的な知能テストであるスタンフォード・ビネー式知能検査とウェクスラー知能検査が使われた。

フリンは、古い換算表を使った場合は新しい換算表を使った場合と比べて、換算されたIQが高くなることを見出した。集めたデー

2020年度第3年次編入学試験問題

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その6)

2019年11月1日 13時00分～15時00分

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

心理学系

| | |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(6枚中 その6)

| | |
|-------|--|
| *整理番号 | |
|-------|--|

*印欄は受験者記入不要

タをすべて吟味すると、1932年から1978年にかけてこの傾向は恒常的に見られることがわかった。同じ換算表を用いたとすると、この期間にアメリカの白人のIQ得点は毎年0.3点上昇し、全期間を通じて約14点上昇したことになる。すなわち、20世紀半ばにおいてアメリカ人のIQは大幅に上昇したように見える。フリンは次のように警告している。

「スタンフォード・ビネー式知能検査やウェクスラー知能検査は、ある期間の前後に作られた2つの換算表によれば、後で作られたテストは以前のテストよりも5点から10点難しくなっていることになる。改訂前後の2つのテストが同じ難易度であると仮定する研究者は、データのもつ情報の本質を見失うことになる。」

「知能テストにおけるこの時代的变化を考慮することは、経済分析においてインフレを考慮するのと同様に重要である。」

SAT(Scholastic Aptitude Test, 進学適性検査)得点の時間的変化の傾向を考慮に入れると、この事実はさらに驚くべき事象であることがわかる。SATテストはアメリカのエリートが大学入学のために受けるハイレベルの試験であるが、IQ得点が増えている期間に

おいて、SATの言語能力(ここでは一般知識とよんでおく)得点は下がっている。SAT得点とIQ得点は、非常に強く相関しているにもかかわらず、一方は得点が低下し、一方は得点が増えているのである。もしIQ得点の上昇が知能の真の上昇を反映し、SAT得点の低下は知識の真の減少を意味しているならば、知能に依拠せずSATが示すある側面の能力が低下していると結論せざるをえない。SAT得点を規定する(しかし知能は規定しない)何らかの要因が、IQが増えた同じ時期に大幅に悪化しているに違いない。フリンは次のように懸念を表明している。

「ここまで議論を進めると、まさに混乱が生じてくる。内容がやさしくなった教科書や低俗なテレビ番組は知能を高めるが、一方で言語的スキルを低下させるのだろうか。学校における要求水準の低下が勉強の習慣を壊してしまったが、頭脳は明晰にしたというのだろうか。学生は学校に出てこず知識は少なくなるが、学校に出ない時間に知能を要求する課題を解くことになって、知能を高めることになるのか。秩序が壊れた家庭環境は、IQを増やすが、勉強への動機づけを低下させるのだろうか。」

- 問1. 筆者が下線部①で「科学的難題」と表現していることがらについて、本文に即して説明しなさい。
- 問2. 下線部②「ある科学論文」について、筆者はフリンがこの論文で何を述べていると書いているか。本文に即して具体的に説明しなさい。
- 問3. 筆者が下線部③で「さらに驚くべき事象」と呼ぶ事象について、本文に即して説明しなさい。